


FUJITSU Software

Systemwalker Centric Manager

A decorative horizontal band with a red-to-dark-red gradient, featuring abstract, glowing white and red lines that swirl and intersect, creating a sense of motion and technology.

Open監視強化テンプレート (Systemwalkerテンプレート連携用) 説明書

1466-20-016-01
2020年9月

はじめに

本資料では、Open監視から統合監視に通知するイベントに対してSystemwalkerテンプレートを適用するための手順について説明します。

[高度な安全性が要求される用途への使用について]

本技術情報は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業等の一般的用途を想定して開発・設計・製造されている製品に対する機能であり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途(以下「ハイセイフティ用途」という)に使用されるよう開発・設計・製造されたものではありません。

お客様は本技術情報を必要な安全性を確保する措置を施すことなくハイセイフティ用途に使用しないでください。また、お客様がハイセイフティ用途に本機能を適用したことにより発生する、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても富士通株式会社およびその関連会社は一切責任を負いかねます。

[商標について]

本資料に記載されている会社名および製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

2020年9月 初版

Copyright FUJITSU LIMITED 2020

目次

第1章 動作環境.....	1
1.1 対象製品.....	1
1.2 準備するもの.....	1
1.3 前提環境.....	1
第2章 概要.....	2
2.1 Systemwalkerテンプレート連携用テンプレート.....	2
第3章 導入方法.....	3
3.1 運用管理サーバおよびOpen監視サーバの構築.....	3
3.2 Systemwalkerテンプレートのインストールと適用.....	3
3.3 Open監視強化テンプレート(Systemwalkerテンプレート連携用)のインストール.....	3
3.4 Open監視強化テンプレート(Systemwalkerテンプレート連携用)のアンインストール.....	3
第4章 利用方法.....	5
4.1 統合監視とOpen監視の連携.....	5
4.1.1 アクションの作成 (Linuxのシステムログを監視する場合).....	5
4.1.2 アクションの作成 (Windowsのイベントログを監視する場合).....	5
4.1.3 既存のアクションの更新.....	6
4.2 テンプレートの利用.....	6
4.2.1 システムログを監視するための設定 (Linux).....	6
4.2.1.1 シスログの設定.....	6
4.2.1.2 テンプレートの設定.....	6
4.2.2 監視対象ホストの作成.....	7
付録A swopnopfmt2コマンドについて.....	8

第1章 動作環境

1.1 対象製品

本資料の対象製品は以下です。

- Systemwalker Centric Manager V15.3.0

1.2 準備するもの

Open監視から統合監視に通知するイベントに対してSystemwalkerテンプレートでフィルタリングするためには、以下が必要です。

- Systemwalker Centric Manager 運用管理クライアント
- Systemwalker Centric Manager 運用管理サーバ
- Systemwalker Centric Manager Open監視サーバ
- Systemwalkerテンプレート
- Open監視強化テンプレート(Systemwalkerテンプレート連携用)

1.3 前提環境

本資料では以下の環境について説明します。

運用管理クライアント環境

- Windows
- Systemwalker Centric Manager V15.3.0

運用管理サーバ兼Open監視サーバ環境(運用管理サーバとOpen監視サーバは別サーバとすることも可能)

- Red Hat Enterprise Linux
- Systemwalker Centric Manager V15.3.0

Open監視エージェント環境

- Red Hat Enterprise Linux または Windows
- Systemwalker Centric Manager V15.3.0

第2章 概要

2.1 Systemwalkerテンプレート連携用テンプレート

Systemwalker Centric ManagerのOpen監視機能では、Zabbixアイテム、Zabbixトリガー、Zabbixアクションの設定をテンプレートとして管理し、テンプレートを適用することで監視設定を容易に管理することができます。

Systemwalkerテンプレート連携用テンプレートを利用することで、統合監視でSystemwalkerテンプレートによるフィルタリングを行う場合の、システムログ(Linux)およびイベントログ(Windows)の監視設定を簡略化することができます。

第3章 導入方法

3.1 運用管理サーバおよびOpen監視サーバの構築

運用管理サーバおよびOpen監視サーバを構築します。運用管理サーバとOpen監視サーバを別サーバとする場合は、部門管理サーバをOpen監視サーバと同居させます。構築方法の詳細は、「Systemwalker Centric Manager 導入手引書」および「Systemwalker Centric Manager Open監視ユーザズガイド」を参照してください。

3.2 Systemwalkerテンプレートのインストールと適用

運用管理サーバにSystemwalkerテンプレートをインストールおよび適用します。

インストールおよび適用方法は、Systemwalkerテンプレートのreadmeを参照してください。

3.3 Open監視強化テンプレート(Systemwalkerテンプレート連携用)のインストール

1. Open監視サーバ上でswopn_template_swtemplate.zipを解凍します。
解凍先には、swopn_template_swtemplateフォルダが作成されます。
2. 解凍されたフォルダへ移動します。
3. swopnopfmt2コマンドを適用します。

```
# cp -p opt/FJSVfjzbx/bin/swopnopfmt2 /opt/FJSVfjzbx/bin/  
# chmod 555 /opt/FJSVfjzbx/bin/swopnopfmt2  
# chown root:root /opt/FJSVfjzbx/bin/swopnopfmt2  
# ln -s /opt/FJSVfjzbx/bin/swopnopfmt2 /opt/FJSVswopn/bin/swopnopfmt2
```

4. Windows環境上でswopn_template_swtemplate.zipを解凍します。
5. Webブラウザから以下のURLを実行し、Open監視サーバのWebコンソールにZabbix特権管理者のユーザでログインします。

```
http://Open監視サーバのコンピュータ名またはIPアドレス:9820/zabbix
```

6. [設定]メニューの[テンプレート]画面を表示し、swopn_template_swtemplateフォルダにあるswtemplate_templates.xmlファイルをインポートします。

インポートしたファイルはTemplatesホストグループに登録されます。

3.4 Open監視強化テンプレート(Systemwalkerテンプレート連携用)のアンインストール

本節の内容は、Open監視強化テンプレート(Systemwalkerテンプレート連携用)のインストール後、利用を終了してテンプレートを削除したいときに行います。

1. Webブラウザから以下のURLを実行し、Open監視サーバのWebコンソールにZabbix特権管理者のユーザでログインします。

```
http://Open監視サーバのコンピュータ名またはIPアドレス:9820/zabbix
```

2. [設定]メニューの[テンプレート]画面から以下のテンプレートを選択し、ホストとのリンクをすべて削除した後、テンプレートを削除します。
 - Template SWTemplate Linux
 - Template SWTemplate Windows

3. swopnopfmt2コマンドを削除します。

```
# rm /opt/FJSVswopn/bin/swopnopfmt2  
# rm /opt/FJSVfjzbx/bin/swopnopfmt2
```

第4章 利用方法

4.1 統合監視とOpen監視の連携

統合監視とOpen監視の連携機能を有効にします。

設定方法は、「Systemwalker Centric Manager Open監視ユーザーズガイド」の「統合監視と連携する」を参照してください。

また、Open監視強化テンプレート(Systemwalkerテンプレート連携用)で使用するZabbixのアクションを作成/更新します。

4.1.1 アクションの作成(Linuxのシステムログを監視する場合)

イベントを統合監視に通知するためのZabbixのアクションを作成します。

1. Open監視サーバのWebコンソールにログインします。
2. [設定]メニューの[アクション]画面を表示し、イベントソースとして[トリガー]を選択してから[アクションの作成]をクリックします。
3. [名前]を任意に設定します。
4. [新規条件]で[タグの値]に「SWTemplate」、[等しい]を選択して「Linux」を設定し、[追加]をクリックします。
5. [実行内容]タブを選択します。
6. [実行内容]枠内の[新規]をクリックします。
7. [実行内容のタイプ]ドロップダウンから、[リモートコマンド]を選択します。
8. [ターゲットリスト]枠内の[新規]からターゲットとして[現在のホスト]を選択し、[追加]をクリックします。
9. [タイプ]に[カスタムスクリプト]を選択します。
10. [次で実行]に[Zabbixサーバ]を選択します。
11. [コマンド]枠内に以下の文字列を設定して、[追加]をクリックします。

```
/opt/FJISVswopn/bin/swopnopfmt2 -h "{HOST.HOST}" -i "{HOST.IP}" -d "{EVENT.DATE}" -t "{EVENT.TIME}" -r  
"{TRIGGER.SEVERITY}" -s "{TRIGGER.STATUS}" -u "{TRIGGER.ID}" -k "{ITEM.KEY}" -m "{EVENT.NAME}" -w
```

12. [追加]をクリックします。

4.1.2 アクションの作成(Windowsのイベントログを監視する場合)

イベントを統合監視に通知するためのZabbixのアクションを作成します。

1. Open監視サーバのWebコンソールにログインします。
2. [設定]メニューの[アクション]画面を表示し、イベントソースとして[トリガー]を選択してから[アクションの作成]をクリックします。
3. [名前]を任意に設定します。
4. [新規条件]で[タグの値]に「SWTemplate」、[等しい]を選択して「Windows」を設定し、[追加]をクリックします。
5. [実行内容]タブを選択します。
6. [実行内容]枠内の[新規]をクリックします。
7. [実行内容のタイプ]ドロップダウンから、[リモートコマンド]を選択します。
8. [ターゲットリスト]枠内の[新規]からターゲットとして[現在のホスト]を選択し、[追加]をクリックします。
9. [タイプ]に[カスタムスクリプト]を選択します。
10. [次で実行]に[Zabbixサーバ]を選択します。
11. [コマンド]枠内に以下の文字列を設定して、[追加]をクリックします。


```
/opt/FJSVswopn/bin/swopnprintfmt2 -h "{HOST.HOST}" -i "{HOST.IP}" -d "{EVENT.DATE}" -t "{EVENT.TIME}" -r
"{TRIGGER.SEVERITY}" -s "{TRIGGER.STATUS}" -u "{TRIGGER.ID}" -k "{ITEM.KEY}" -m
"{ITEM.DESCRPTION}";{ITEM.LOG.SOURCE}; {TRIGGER.DESCRPTION}; {ITEM.LOG.EVENTID};
{EVENT.NAME}" -w
```

12. [追加]をクリックします。

4.1.3 既存のアクションの更新

統合監視へイベントを二重通知しないようにするため、既存の統合監視への通知用アクションを更新します。

1. Open監視サーバのWebコンソールにログインします。
2. [設定]メニューの[アクション]画面を表示し、イベントソースとして[トリガー]を選択してから「Report problem events to Systemwalker Centric Manager Integrated Monitoring」をクリックします。
3. [新規条件]で[タグ名]に[等しくない]を選択し、「SWTemplate」を選択して、[追加]をクリックします。
4. [更新]をクリックします。
5. アクションの一覧から「Report ok events to Systemwalker Centric Manager Integrated Monitoring」をクリックします。
6. [新規条件]で[タグ名]に[等しくない]を選択し、「SWTemplate」を選択して、[追加]をクリックします。
7. [更新]をクリックします。

4.2 テンプレートの利用

Open監視強化テンプレート(Systemwalkerテンプレート連携用)をインストールすると、以下が利用可能になります。

テンプレート名	監視対象
Template SWTemplate Linux	システムログ
Template SWTemplate Windows	イベントログ

4.2.1 システムログを監視するための設定(Linux)

シスログが初期設定で出力しているファイル(/var/log/messages)を監視する場合は、設定は不要です。

初期設定と異なるファイルを監視する場合は、以下の設定を行います。

4.2.1.1 シスログの設定

監視対象ホスト(Open監視エージェントをインストールしたホスト)で、シスログの設定を行います。

例)メッセージを/var/log/testlogに出力して監視する場合

1. /etc/rsyslog.confに以下を追加します。

```
*.warn /var/log/testlog:RSYSLOG_TraditionalFileFormat
```

2. rsyslogを再起動します。

4.2.1.2 テンプレートの設定

Zabbixテンプレートに監視対象ファイルの設定を行います。

1. Open監視サーバのWebコンソールにログインします。
2. [設定]メニューの[テンプレート]画面を表示し、「Template SWTemplate Linux」をクリックします。

3. [キー]欄に記載されている文字列内のファイル名を、シスログに設定したファイル名に変更します。

例) /var/log/testlogファイルを監視する場合

【変更前】 /var/log/messages

【変更後】 /var/log/testlog

4. [更新]をクリックします。

4.2.2 監視対象ホストの作成

以下の手順で監視対象ホストを作成し、テンプレートをリンクします。

1. Open監視サーバのWebコンソールにログインします。
2. [設定]メニューの[ホスト]画面を表示し、[ホストの作成]をクリックします。
3. [ホスト]タブを表示し、監視対象ホスト(Open監視エージェントをインストールしたホスト)の情報を設定します。
4. [テンプレート]タブを表示し、[テンプレートとのリンク]に利用するテンプレートを設定します。
5. [追加]をクリックします。

付録A swopnopfmt2コマンドについて

「統合監視とOpen監視の連携」で作成するアクションでは、swopnopfmt2コマンドによる連携を行っています。従来の連携と比較して以下の差異があります。

- ・ 統合監視に通知するイベントの先頭にエラー種別を表す文字列(「エラー」など)を付けません。
- ・ 通知するイベントのメッセージテキストからエラー種別を決定します(※)。
- ・ エラー種別が「情報」のイベントを重要度「一般」で統合監視に通知します。

※) エラー種別の決定方法の詳細は以下のマニュアルを参照してください

Systemwalker Centric Manager 使用手引書 監視機能編

4.3.1.1 イベント監視の条件定義

ラベル、エラー種別、メッセージテキストについて